

DAVIS 



JAPANESE

[see separate document for complete English instructions]

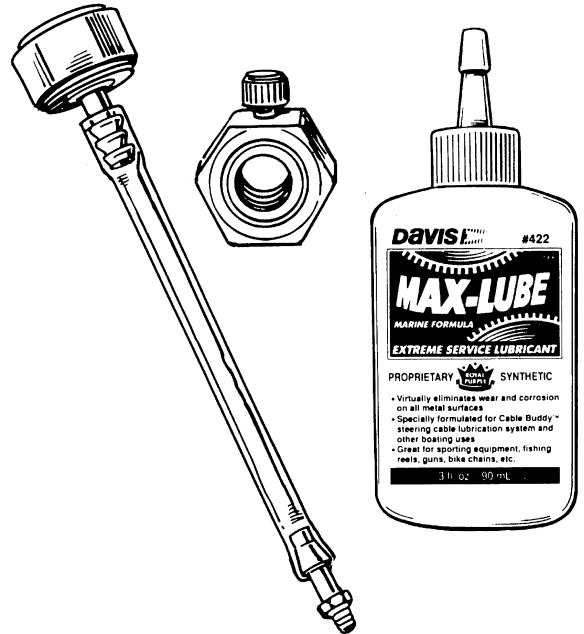
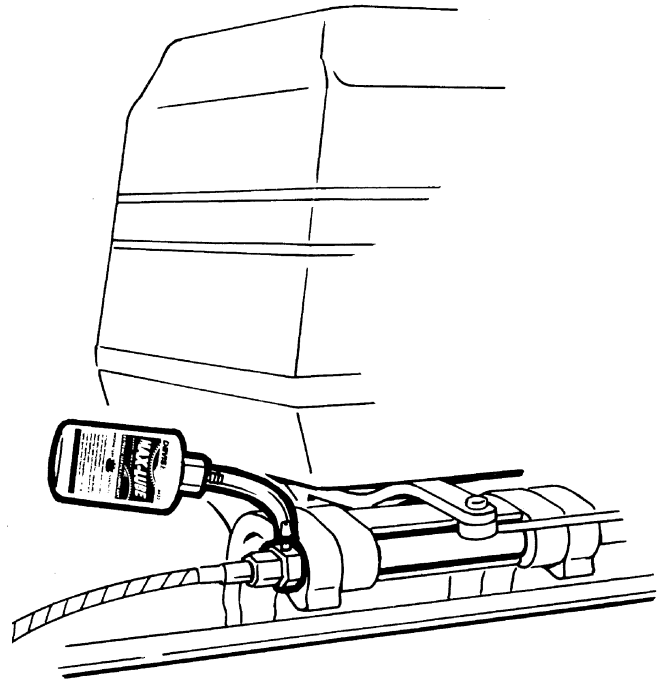
操縦ケーブル用潤滑システム

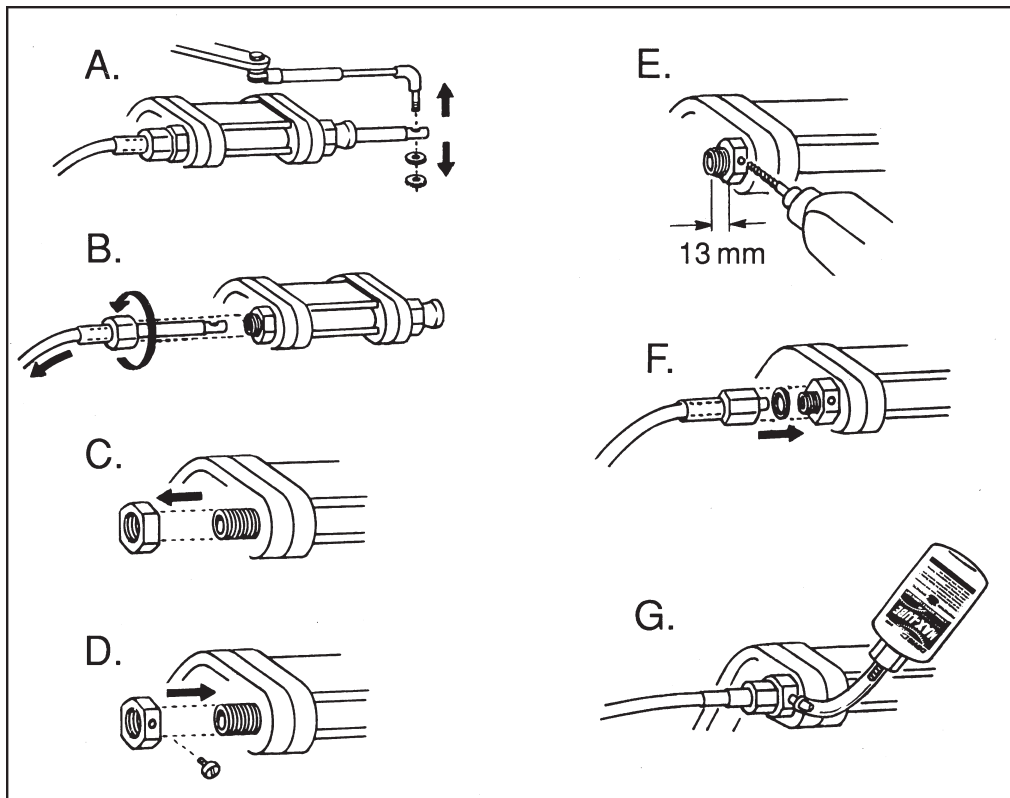
ケーブルバディ™システムは操縦ケーブルを湿気の侵入から保護し、マックスルブ™油をケーブルに送ります。その結果はより安全でより簡単な操縦です。船内、船外、船内/船外の操縦ケーブルに使用できます。ケーブルバディは、最も問題の起こりやすい、しかも見つけにくい侵食が生じやすい箇所である、他の方法では手の届かないケーブル内部にまで注油します。簡単に取り付けられます。ケーブルを外すことができれば、ケーブルバディを取り付けることができます。

マックスルブ™は、厳しい環境下でも強力な水分離力また侵食保護力があり、理想的な潤滑油です。マックスルブは零下40度でも流動性を維持します。凍結を防ぎます。詳しい説明は同封されています。

#420
Cable Buddy,
one lube nut

(#421, Cable Buddy
with two lube nuts,
discontinued 2012)





操縦ケーブル用潤滑システム

ケーブルボディ™の取付方

結合ナットを外し、操縦アームを取り外します(図A)。カップラーナットを外し、チルトチューブから操縦ケーブルを滑り外します(B)。使用モデルにより、ケーブルを外すときにモーターを傾けなければならないこともあります。チルトチューブのナットを外します(C)。操縦ケーブルとチルトチューブの汚れをとります。(プラグを外した状態で)ケーブルボディナットをチルトチューブに通します(D)。ナットの側面の穴が仕事のし易い箇所にくるまで、軽く締めます。ナットが定位置に固定した状態で、少なくとも13ミリのチルトチューブが外に出ていなければなりません。13ミリ以下の場合、チルトチューブの他の端のロッキングナットを戻して調節します。プラグの穴と一致するように、チルトチューブに3ミリの穴を開けます(E)。削りくずを取り除きます。操縦ケーブルの端にケーブルボディのナイロンの座金を置きます。カップラーナットと操縦ケーブルをつなぎます(F)。操縦アームを取り付けます。ケーブルボディのナイロンのプラグに締め入れます。注意：二つの潤滑ナット付のケーブルボディIIはツインケーブル操縦システムですので、この説明は該当しません。

ケーブルに注油

プラグホールにケーブルボディのオイルチューブアセンブリの端をねじり入れます。オイルボトルを他の端にねじり入れます(G)。操縦ハンドル(又は発動機)がゆっくりと左右に3-4回ほど回っているときに、少なくともボトルの半分の中身を絞り出します。プラグを取り付けます。このとき少量のオイルが漏れます。環境にもよりますが、年に1-2回繰り返してください。

Davis Instruments

3465 Diablo Ave., Hayward, CA 94545 U.S.A.

Phone (510) 732-9229 • Fax (510) 732-9188

info@davisinstruments.com

www.davisinstruments.com